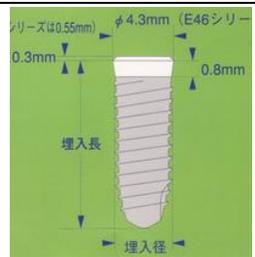
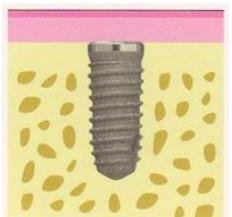


MYTIS B-type				
ボディー径	PF径 / 指定ドリル径	OAM径 (指定ドリル相当)	骨縁埋入 (カウンターシンク) ※	備考
φ 3.3mm	φ 4.8mm / φ 2.8mm	OAM φ 2.8	深度 6mm / OAM φ 3.0～φ 4.8 まで	機械研磨面を骨内埋入する場合(※)は、OAM φ 4.0 などでジグリングして骨頂部をプラットフォーム (以下、PF) 径まで拡大してください。ジグリングをしない場合はφ 4.8 まで浅めに使用します。
φ 3.7mm	φ 4.8mm / φ 3.2mm	OAM φ 3.2	深度 6mm / OAM φ 3.4～φ 4.8 まで	
φ 4.0mm	φ 4.8mm / φ 3.5mm	OAM φ 3.4	深度 6mm / OAM φ 3.6～φ 4.8 まで	
φ 4.6mm	φ 4.8mm / φ 4.1mm	OAM φ 4.0	深度 6mm / OAM φ 4.2～φ 4.8 まで	
MYTIS BW-type				
ボディー径	PF径 / 指定ドリル径	OAM径 (指定ドリル相当)	骨縁埋入 (カウンターシンク) ※	備考
φ 4.6mm	φ 5.6mm / φ 4.1mm	OAM φ 4.0	深度 6mm / OAM φ 4.2～φ 4.8 まで	機械研磨面を骨内埋入する場合(※)は、OAM φ 4.0 などでジグリングして骨頂部をプラットフォーム (以下、PF) 径まで拡大してください。ジグリングをしない場合はφ 4.8 まで浅めに使用します。(φ 5.0 以上は設定無し)
MYTIS C-type				
ボディー径	PF径 / 指定ドリル径	OAM径 (指定ドリル相当)	OAM径 (カウンターシンク相応)	備考
φ 3.7mm	φ 3.9mm / φ 3.2mm	OAM φ 3.2	深度 6mm / OAM φ 3.4～φ 3.8 まで	軸面の拡大後、カウンターシンクの代用として OAM を使用する場合。(※) 通常は、指定のカウンターシンクにマニュアルドライバーを装着して形成することをお勧めします。
φ 4.0mm	φ 4.2mm / φ 3.5mm	OAM φ 3.4	深度 6mm / OAM φ 3.6～φ 4.2 まで	
φ 4.6mm	φ 4.8mm / φ 4.1mm	OAM φ 4.0	深度 6mm / OAM φ 4.2～φ 4.8 まで	
MYTIS E-type				
ボディー径	PF径 / 指定ドリル径	OAM径 (指定ドリル相当)	OAM径 (カウンターボア相応)	備考
φ 3.3mm	φ 4.3mm / φ 2.8mm	OAM φ 2.8	深度 6mm / OAM φ 3.0～φ 4.2 まで	機械研磨面を骨内埋入する場合 (※) は、OAM φ 4.0 などでジグリングして骨頂部をプラットフォーム (以下、PF) 径まで拡大してください。ジグリングをしない場合はφ 4.2～φ 4.8 まで浅めに使用します。
φ 3.7mm	φ 4.3mm / φ 3.2mm	OAM φ 3.2	深度 6mm / OAM φ 3.4～φ 4.2 まで	
φ 4.0mm	φ 4.3mm / φ 3.5mm	OAM φ 3.4	深度 6mm / OAM φ 3.6～φ 4.2 まで	
φ 4.6mm	φ 4.8mm / φ 4.1mm	OAM φ 4.0	深度 6mm / OAM φ 4.2～φ 4.8 まで	



## MYTIS B-type、MYTIS BW-type の場合

ブラスト面は、ほぼストレート仕上げになっています。最終ドリル径を最終 OAM 径としてください。(骨質が軟らかい場合は、やや小径まで)

機械研磨面を骨内に埋入する場合には、プラットフォーム径まで拡大する必要があります。深度 6mm 程度で PF 径付近まで拡大しますが骨内埋入深度によって骨頂部径が違いますので注意してください。

## MYTIS C-type の場合

ボディ径に対して、ややプラットフォーム径が大きいです。

軸面の拡大後、カウンターシンクの代用として OAM を使用することもできます。通常は、指定のカウンターシンクにマニュアルドライバーを装着して形成することをお勧めします。

## MYTIS E-type の場合

ブラスト面は、ほぼストレート仕上げになっています。最終ドリル径を最終 OAM 径としてください。(骨質が軟らかい場合は、やや小径まで)

機械研磨面を骨内に埋入する場合には、プラットフォーム径まで拡大する必要があります。深度 6mm 程度で PF 径付近まで拡大しますが骨内埋入深度によって骨頂部径が違いますので注意してください。

## 臨床的ヒント！！

骨質が軟らかくファイナルドリルまでオーギュメーターのみで拡大できた場合には、マニュアルドライバー (※1) に装着したドリルを使用すると"モーターレス"でインプラント窩を形成することもできます。

骨頂部皮質骨を飛ばしたくないなどの理由でファイナルドリルを使用しない場合は、トレフィンバーが便利です。側面部に刃が付与されていないトレフィンバー (※2) を使用すると骨頂部の裂開が防止できます。

また、海綿骨を採取することができるため、骨補填材として利用することもできます。

参考商品 (詳細はお問合わせください。)

※1) 商品名 : 2次オペ用ボーンカウンターツールマニュアルドライバー

販売 : 白鵬 価格 : 9,200 円 (参考価格)

※2) 商品名 : K-SYSTEM KS3.2mm セット

販売 : (株)メディカルエイペックス

価格 : 58,500 円 (税抜き)

◇ブレード着脱には、専用ドライバーがあると便利です。

商品名 : ドライバー 価格 : 3,000 円 (税抜き)

インプラント長まで挿入できない場合、骨頂部のみ拡大してインプラント長まではトレフィンバーをご利用ください。

無注水による削合ができますので、採取した骨を使用することも可能です。

